

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



# 茅小だより 5月号

令和5年4月28日（金）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校  
校長 吉野 利彦

## 子どもが話したいことに 耳を傾けていきたい

風薫るさわやかな季節となりました。保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

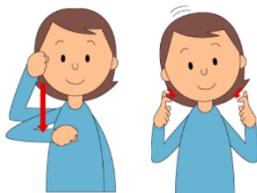
新年度がスタートして3週間がたちますが、どの学級も、新しい担任の下、これから1年間かけてどのようなクラスにしていきたいか、子どもたちの思いを大切にしながらクラスづくりを進めているところです。1年生も、先週から給食が始まり、小学校生活に少しずつ慣れてきているようです。

一方で、5月の大型連休明けの頃は、新しい環境になじめず、登校しぶりの子どもたちが増える時期でもあります。登校しぶりの原因は様々ですが、子どもの登校したくない理由をいかに把握していくかが大切です。その際のポイントが、「共感」だと思います。子どもから話を聞くときは、大人が聞きたいことから聞くのではなく、子どもが話したいことから聞くことを心がけ、「話してくれてありがとう」という気持ちをもって、子どもの話を遮らずに傾聴していくことが重要です。子どもは、自分の気持ちを受け止めながら、話をしっかりと聞いてくれる相手を信頼するようになっていくはずで、ご一考いただければ幸いです。

## 5月は『手話月間』です 「手話」であいさつをしてみませんか

「おはよう」

右手のこぶしを下におろして、人差し指を折り曲げる



「ありがとう」

左手の手のひらを下向きにして、右手を垂直に上げる



「ごめんなさい」

親指と人差し指で眉間をつまむ。手を開いて、上から下へ下ろしながら頭を下げる

